

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

青柏祭

国指定重要無形民俗文化財
「青柏祭の曳山行事」

でか山

5月3日(日)～5日(火)



山王神社に3台のでか山が集結する

約530年ほど前からある『でか山』、今でも昔と変わらずぎを一本も使わずに組み立て、運行ではてこを使って方向転換する。高さ12m、重さ20tもある『でか山』を人力のみで動かす技術は、今後も守り続けて引き継がれていくもの。国の重要無形民俗文化財に指定されている「青柏祭の曳山行事」、次世代の若衆や子どもたちにも今と変わらず同じ形で受け継いで、何年経っても迫力ある『でか山』であることを期待したい。



とめてこ
止榎子を使い、でか山を止める瞬間



勢いよく曳き出された「でか山」



でか山レディースも負けじと綱を引く



晴れやかな表情の新郎新婦

第6回花嫁のれん展 「花嫁道中」

4月29日(水・祝)、一本杉通りで「第6回花嫁のれん展」の開催に伴い、「花嫁道中」が行なわれた。新郎・宮沢達実さんと新婦・八崎裕美さんが魚町でか山若衆の木遣りを先導に一本杉通りを練り歩いた。

「花嫁のれん展」は、古き良き風習や伝統を守りつつ、その風習を町おこしにつなげている。皆さんも、地域の古き良き風習や伝統を改めて見つめ直し、町おこしなどを掘り起こしてみてはいかがでしょうか。



多くの記者から
取材を受ける2人



「花嫁のれん」を
くぐる2人



でか山魚町総代の
見事な木遣り



新婦も加入していた
でか山レディースの
山女会も道中に参加



木遣り衆を先導に
びっしりの一本杉



魚町若衆によるお祝
いの「七尾まだら」

一緒に『こいのぼり』を揚げたよ♪

聖母幼稚園、東みなと保育園、よつば保育園、のどしま保育園、中島保育園の園児と市内の乳幼児の子どもたち約100人が市役所前で『こいのぼり』を揚げ、ひまわりの種入り風船を飛ばした。みんな、健やかに育つてね！



4月28日：七尾市役所前

建具とメガネのコラボレーション

田鶴浜建具



4月14日：七尾市役所

長い歴史を持つ田鶴浜建具とメガネ産業が盛んな福井県鯖江市の企業が異業種協力によって桜の木を使ったメガネフレームを製作した。両業種の方々が生産現場を訪れた際、武元七尾市長も記念の1本を購入した(写真)。お互いの技術を生かし、今後は新たな需要を掘り起こしていければと。

ひと足先に「エンヤァー、エンヤァー！」

『子ども山』

実物の4分の1のサイズのでか山『子ども山』がミナクル周辺で、多くの子どもたちによって曳き回された。この『子ども山』は、2年前に松百町の白瀬巖さんから市へ寄贈されたもの。子どもたちは、ひと足先に祭り気分を味わった。



5月3日：ミナ.クル周辺
(※通常はミナ.クル1階通路に展示)

自分たちが住む街をもっときれいに！

『街を美しく支隊』



4月21日：七尾市役所

七尾みなと保育園と東みなと保育園の年長児47人は、『街を美しく支隊』を結成して市役所を訪れた。武元七尾市長を前に園児たちは、「私たちが住む七尾市がもっときれいになるようがんばります」と誓った後、市役所周辺のごみを拾った。今後は、毎月1回市内の清掃に回る。

未来のナースを目指して

プチナース・ふれあい訪問

看護週間(5月10日〜16日)にちなみ、公立能登総合病院において「プチナース・ふれあい訪問」と題し、命の大切さや看護の仕事について知ってもらう企画が行なわれた。参加したのは高階保育園の園児で、新生児と同じ重さの人形を抱っこしたり、おむつ交換など体験した。



5月14日：公立能登総合病院

「救命胴衣は忘れずに！」

海の事故ゼロ運動2009



5月2日：七尾マリンパーク

七尾海上保安部やNPO法人能登水難救済会などの関係者が集まり、『海の事故ゼロ運動2009』の開始式が行われた。開始式では、袖ヶ江保育園の園児も参加し、「おじいちゃん、お父さん、海に出るときは救命胴衣を忘れないように」と声をそろえて呼びかけた。